

第 1035 回韓国水曜デモに連帯する世界同時アクション in 東京

8・15 終わらない戦争

「慰安婦」被害者に謝罪と賠償を！

ちようちんデモ

しませんか？



とき
2012年 8月15日(水)

◎第1部：14:20～(開場 14:00)

映画上映会@日比谷図書文化館

◎第2部：17:30～

ちようちんデモ@日比谷公園→銀座方面



主催：戦時性暴力問題連絡協議会 / 日本軍「慰安婦」問題解決全国行動 2010

<http://restoringhonor1000.info/main/index.html> E-mail: ianfu-kaiketsu@freeml.com

8月15日、第1035回韓国水曜デモに連帯して、東京では「映画上映会」と「ちょうちんデモ」を行います。亡くなった「慰安婦」被害者たちに思いを馳せ、この問題の1日も早い解決を求める行動です。多くの方に声をかけていただき、ぜひご参加ください。

昨年8月30日、韓国憲法裁判所が「日本軍『慰安婦』問題の解決のために韓国政府が日本政府と交渉しないのは憲法違反だ」との判断を示しました。その後、この1年間、韓国政府は日本政府に何度も二国間協議を呼びかけているにもかかわらず、日本政府はこれに応じていません。韓国で名乗り出た235名の被害女性は、現在80歳を超え無念のうちに亡くられる方が相次いでいます。生存の方は61名になってしまいました。もはや時間は残されていません。

「ちょうちんデモ」では、通りを歩く人々に私たちは特製「うちわ」を配ります。「『慰安婦』被害者に謝罪と賠償を」というメッセージが記されている「うちわ」です。ハルモニ（朝鮮・韓国語で「おばあちゃん」の意）たちの「恨」（長い間、晴らすことができないでいる無念さや悲しみ）をのせ、そしてその「恨」を解き放つためにはばたく美しい蝶がシンボルとして片面に描かれています。

この日、様々なアクションが日本全国、そして世界各国で同時に行われます。「慰安婦」被害者にとって戦争は終わっていません。ぜひ各地の行動にご参加ください。

とき：2012年8月15日（水）

◎第1部：映画上映会とおはなし

場所：日比谷図書文化館

- 14:00 開場
- 14:20 主催者趣旨説明
- 14:30 ドキュメンタリー上映
「終わらない戦争」（監督 金東元）60分
- 15:30 休憩
- 15:40 「慰安婦」問題の今
梁澄子（「慰安婦」問題解決全国行動2010共同代表）
- 16:10 国内外からの様々なアピール
- 16:50 閉会

◎第2部：ちょうちんデモ

17:30に日比谷公園の霞門付近にお集まりください。

住所：千代田区日比谷公園1番4号（旧・都立日比谷図書館）

アクセス：丸の内線・日比谷線・千代田線「霞ヶ関駅」

C4・B2出口より徒歩約5分

都営地下鉄 三田線「内幸町駅」A7出口より徒歩約3分

千代田線・日比谷線「日比谷駅」A14出口より徒歩約7分

JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約12分

～参加費：無料～

「慰安婦」問題とは？

日本軍は戦場に、兵士の性病を防ぐためなどの名目で「慰安所」を設置しました。「慰安婦」にされた女性たちは、自分の意思に反して、植民地であった朝鮮や台湾をはじめ、アジア各国から集められ、厳しい監視のもとにおかれました。14・5才の少女もいました。日本軍の性暴力被害者は、「慰安所」制度の被害者だけではありません。占領地で強かん・輪かんされた女性たちも、同じように被害回復を求めています。

